

# SDG s ラボ

協力：株式会社ありがとうファーム、岡山市身体障害者福祉協会、一般社団法人コミュニティラポール、クラウドファンディングにご支援くださった皆さま

## 00背景

岡山市をSDGsタウンにすることに資する活動として、「このラボで何をすべきか」を模索しながら9名の経営学科3年次生が教員2名と1年間取り組む。

**01課題** 障害があってもなくても、誰もが住みやすい岡山のまちづくり「だれ一人取り残さない岡山市の実現」。

## 02内容

2-1 **SDG s の理解**→SDGsの理解を深めるため議論や意見交換を行う。

2-2 **課題の設定**

→岡山でSDGsを達成する一環として、SDG s 17の目標のひとつである「11. 住み続けられるまちづくり」の実現を目指し、“障害があってもなくても誰もが住みやすい岡山のまちづくり”を課題とし進めることとした。

2-3 **現状・問題の把握**

→車いすユーザーの方とバリアフリー体験や岡山市内の状況調査を実施。

2-4 **道筋の決定**

→岡山市のSDGsタウン化に資する活動（啓発活動）とし、SDGsの観点から学生と障害のある方々が一緒に岡山市内を調査した結果を48枚の読み札にし、オンラインカルタゲームアプリを作成する。

2-5 **成果物の作成**

→アプリの制作資金を調達するため、クラウドファンディングを行う。  
→再度、市内のバリアフリー調査を実施し、かるたの文言・デザイン作成を行う。



アプリ制作業者との打ち合わせ



48枚のかるた制作



完成したアプリゲーム



## 03結果\_成果物のリリース

岡山市のバリアフリーの現状をカルタゲームにし、ゲームアプリ「岡山SDG s カルタ～バリアフリー編～」をアップルストアとグーグルストアでリリースした。

▶バリアフリーを中心として、これからの岡山でのSDG s の啓発用教材の土台を築くことができた。



完成後に協力者を招待しかるた大会を実施